

中郷区

地域協議会だより

第53号(令和2年度第2号)

発行日：令和2年12月25日
発行：中郷区地域協議会
編集：地域協議会だより
編集委員会
(中郷区総合事務所)
TEL：0255-74-2411

地域協議会の活動内容は、上越市ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/nakago-ku/jitiku-13area-nakago.html>

視察研修について

毎年、県内各地で行っている視察研修ですが、今年はコロナウイルス感染予防も考慮して、「改めて地元を見直す」ということから、区内視察を11月24日に行いました。

《日本曹達(株)二本木工場の視察について》

今年の2月に100周年を迎えた日本曹達(株)二本木工場にて視察研修を行いました。

日本曹達(株)二本木工場は、「日本曹達の創業の地」であること、「雪うさぎ」が社章になった由来や創業当時のエピソードなども改めて聞かせていただきました。

現在のコロナ渦において、プールなどでよく使用される消毒薬の需要が減少する中、一方では農薬やHPCという薬品は好調だという説明を受けました。海外需要も多く、外国の拠点や協力企業とも連携し、日本だけではなく、世界に目を向けた事業を展開しているそうです。今後は、現在好調な現場を拡大し、更なる成長を遂げるべく前進していくそうです。工場内も見学させていただきました。広大な工場の中、時代の流れとともに、必要でなくなった施設が取り壊される一方、新たな施設の大規模な増設も行われていました。

中郷区の大きな課題である人口減少も日本曹達(株)二本木工場のような地域をリードする企業があれば、学生の地元就職やUターンで人口増の期待も持てるのではないかと感じました。



日曹での研修の様子

《雪郷プロジェクトの視察について》

平成27年6月に岡沢で雪郷プロジェクトの活動が始まり今年で5年目を迎えます。中でも私たちに身近な取組が、地域活動支援事業費を活用し雪を活かした「スノーフェスト」でしょう。その他にも様々な活動を通じてそれまで私たちが抱いていた中郷の雪への見方を変え続けてきています。今年の10月には岡沢産の木材をふんだんに使った「雪郷ロッジ」を開業。ますますその活動から目が離せません。今回はその取組について詳しいお話を代表の塚田さんから伺いました。



雪郷ロッジでの様子

この地に暮らす私たちにとって雪は厄介なものという見方が大方です。しかし、この雪にこそ価値があるという塚田さん達にとって、冬の季節はその価値を形にできる素晴らしい時間なのです。雪が降ればその景色を楽しむ人々が訪れ、そこでスノーモービル等を使った様々な活動が展開される。また土地に根付いた食や文化を伝えることができる。熱く語る塚田さんの言葉に新鮮な驚きと感動を覚えました。まだ始まったばかりのこの取組が今後この地域に対してどんな化学反応を起こせるのか、それは私たちの課題でもあります。(高橋京子副会長)

《裏面もご覧ください》

自主的審議事項について

令和元年2月より自主的審議事項として「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」をテーマに協議を進める中で、これまでに学校関係者との意見交換会や中郷小学校・中郷中学校の児童・生徒との意見交換会を重ね、基金を最も有効に活用するため審議してきました。

そしてこの度、ようやくテーマに沿った事業案がまとまりましたので、皆様に報告させていただきます。「夕日ヶ丘整備事業」「桜の植樹事業」「縄文公園整備事業」「講演会事業」の4事業を柱に計画しております。

まず、「夕日ヶ丘整備事業」については、「中郷小学校の環境を大切にしたい…」ということから、6つの項目について検討しております。

- ①伐採工事として、クロスカントリーコースやスキーコースへの支障枝の伐採や夕日ヶ丘全体の老木など危険な枝木の伐採を行い、昔の状況を復元します。
- ②石碑の洗浄として、多くの拓本が取られている小川未明碑は、墨汚れがひどいため洗浄します。
- ③石碑の説明板設置工事として、小川未明碑について設置します。
- ④遊歩道工事として、クロスカントリーコースの傾斜部に芝を張り、コースが狭くなっているところについては拡幅します
- ⑤案内板設置工事として、小学校校舎入り口に夕日ヶ丘の案内看板設置します。
- ⑥スノーモービル格納庫として、現在の格納庫を撤去し、改築します。

計1,700万円

次に「桜の植樹事業」については、「中郷区の象徴“さくら”を大切にしたい…」ということから、区内の主な箇所について検討を行い、二本木駅と中学校を対象とすることとしました。

- ①二本木駅は「植樹3本 伐採、伐根2本」
- ②中郷中学校は「植樹2本 伐採・伐根2本」

計200万円

次に「縄文公園整備事業」については、「中郷の文化の継承と新たな取り組みをしたい…」ということから、5つの項目について検討しました。

- ①モニュメント説明板更新工事「2ヶ所更新」として、現在設置してある説明板が経年劣化により読み取れない状況となっているので更新します。
- ②案内板設置工事として、縄文公園東側入口に新たに設置します。
- ③堅穴式住居の説明板設置工事として、新たに住民組織で建設を予定している堅穴式住居の説明看板を設置します。
- ④東屋設置として、1.5間×3.0間（擬木）の東屋を設置します。
- ⑤桜の植樹として西側入口付近に約12本の桜を植樹します。

計1,200万円

最後に「講演会事業」については、「中郷の子ども達の心にいつまでも残したい…」ということから、中学生から20代位までをターゲットに心に残る講演会を計画します。

250万円

以上が事業の概要となります。総額で3,350万円を予定しています。この他、整備された後の維持管理の在り方なども考えていかなければならないと思っています。この後、令和3年1月23日（土）に区民の皆様との意見交換会を行い、内容を精査し、令和4年度に事業を実施したいと考えておりますので、是非、意見交換会に多くの人から参加いただき、貴重なご意見をお聞かせください。



審議の様子

編集後記

1月24日には「日曹二本木工場」「雪郷プロジェクト」にて視察研修をさせて頂き、関係者の方々には心から感謝申し上げます。自主的審議事項では「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」の事業内容と事業費が概ね出揃い、皆様にお伝え出来るようになりました。

令和2年もあとわずかとなりました。コロナ渦ではありますが、感染予防を徹底し、お体に気を付けてお過ごしください。地域協議会では皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。編集委員 陸川昇一 荒川清尊 陸川陽一



地域協議会はどなたでも傍聴出来ます。地域協議会の日時、会場などは中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ ☎74-2411 地域振興班までお問い合わせください。